

飛躍

TOKAI UNIVERSITY TAKANAWADAI JUNIOR & SENIOR HIGH SCHOOL



東海大学付属高輪台高等学校・中等部 学校報

●発行日/2009年1月1日

●発行者/東海大学付属高輪台高等学校・中等部 校長・杉一郎

HIYAKU

第273号

「知性と品性、そして感性を」

若き日に汝の思想を培え

Cultivate thy thought in thy early days

若き日に汝の体躯を養え

Make thy body strong in thy early days

若き日に汝の智能を磨け

Improve thy wisdom in thy early days

若き日に汝の希望を星につなげ

Chain thy hope to the stars in thy early days

TOP*NEWS あけましておめでとうございます 2009年が希望に満ちた年でありますように



初の関東大会出場の卓球部

新年を迎えて ~更なる改革を目指して~



校長
杉一郎

新年明けましておめでとうございます。新しい年の始まりです。

この1年間もたくさんの出来事がありました。そのなかでもっとも印象に残っているのは、なんとといっても野球部の東東京都大会準優勝ではないでしょうか。本校始まって以来の全校応援に神宮球場が燃えました。いつか近い将来、甲子園での全校応援が実現するようにこれからも頑張りたいと思います。

学習と部活動の両立を目標のひとつに掲げた本校では、

野球部以外にもたくさんうれしい記録が沢山生まれました。ディベート研究同好会のディベート甲子園全国3位を始め、吹奏楽部の管楽合奏コンテスト全国大会最優秀賞、ダンス部のミスダンスドリルチームジャパン2008出場、放送部のNHK杯全国大会出場。関東大会で、なぎなたの和田さんが関東ベスト8、卓球部、ゴルフ部、弓道部、アーチェリー部、柔道部、レスリング澤君が出場。学園オリンピック・スポーツ部門では、サッカー部が優勝、卓球男子、バドミントン男子、柔道男子100Kg級前田君、女子伊原さんがそれぞれ2位、男子走り幅跳び白滝君、卓球男子シングルス長岡君、ソフトテニス男子、バドミントン女子、柔道女子具志堅さんがそれぞれ

3位。などなど、これ以外にもたくさんの記録が生まれ、活躍のめざましい1年間でした。

スポーツ部門に先立って実施された学園オリンピック文化部門では、1次審査を通過した17名が頑張り、優秀賞7名、奨励賞、努力賞が各2名、音楽部門金賞、銀賞がそれぞれ1名というすばらしい成績を収めることができました。

これら本校の諸活動が高い評価を受け、“We can do it !”

をテーマにした第44回建学祭では過去最高記録だった昨年の記録をさらに120名以上上回る6,277名の来校者を迎えて、新記録更新となりました。

2009年の幕開け。アクティブボードを用いた授業改革の推進、SSH活動、女子理工系進学推進など、さらなる飛躍を目指して、今年も全力で頑張ります。

卓球部 初めての関東大会出場



卓球部部长 細井 翔太
2年3組 目黒区立第四中学校出身

卓球部では、代々「関東大会出場！」という大きな目標を掲げ、日々練習に励んできました。そして今回、初となる関東大会出場の夢を25人の力で叶えることができました。

先輩達の代では、いつも「あと一步」のところまで目標は達成できず、何度も悔し涙を見てきました。新チームになったときに「今年こそは関東大会に行く」と先輩達に約束しました。それは、今までの目標だったからというだ

けではなく、先輩達の悔しさをバネにしてその夢を叶えることが一番の恩返しになると思ったからです。そうした気持ちがひとつとなり強豪、東海大学菅生高校を破り代表の座を獲得することができました。出場が決まったことを報告すると、先輩達は自分のことのように心から喜んでくれました。

今回の関東大会出場は、歴代のOBの方々の努力が積み重なって生まれたものであり、陰となりひなたとなり応援してくださった保護者の方々、一番身近にいて様々なことを教えてくださった3年生なしには決して得られなかったと思っています。思い返すと、私達はたくさんの方々を支えられ、今回の結果を得ることができました。これからもこの感謝の気持ちを忘れず、更なる飛躍を目指し活躍していきたいと思ひます。

生徒会新役員決まる

11月20日、生徒会役員選挙で来年度の役員が決定しました。高校では、会長が決選投票、副会長・会計・書記1名が信任投票、書記1名は立候補者の中から旧生徒会が選出しました。中等部ではすべての役員が決選投票で選出されました。新役員の方々は先輩達が築いてきた伝統を大切にしながら、高輪台高校・中等部がさらに発展していけるよう力を注いでください。また、生徒の方々も新役員の下、よりよい学校生活が送れるよう協力していきましょう。



高校生徒会会長
大沼 雄貴
2年4組 足立区立東綾瀬中学校出身

私は必ず生徒会で実現させたいことがあります。それは生徒の意識を変えることと学校をもっと盛り上げることです。前生徒会は中央委員会やボランティア活動など、積極的に取り組んでいました。しかしまだ、生徒会活動に対する生徒の関心が薄いと感じています。だから私は、生徒1人ひとりと生徒会活動を活発にするために、中央委員

会をはじめとした各委員会すべてに参加して、意見や要望があればすぐに動けるようにしたいと思います。意見や要望を聞いて素早く動くことで、生徒による積極的な企画運営が実現できると思います。生徒1人ひとりが活発になれば、自然と行事や学校を楽しめるものになっていくと思います。また、行事の面ではもっと委員会の回数を増やしたり有志を募ったりしたいと考えています。どうしても実行委員だけでは、建学祭や体育祭は、生徒1人ひとりが主役になることは難しいからです。だから私は、自ら生徒に積極的に働きかけて交流をもち、生徒全員で学校を作っていくために頑張っていきたいと思ひます。この学校と生徒のために、一生懸命頑張りますので、1年間ご協力をお願いします。



中等部生徒会会長
長瀬 慶太郎
2年A組 港区立白金小学校出身

来年度は、初めて中等部が3学年揃う年です。生徒1人ひとりが、楽しく充実した学校生活が送れるように、中等部の生徒会長として、責任を持って積極的に生徒会の活動に取り組んでいきたいと思ひ

ています。まず1つは、学校行事を盛り上げていくことです。体育祭では、どのような競技を取り入れていくのかを体育祭実行委員と相談したり、建学祭では、高校生の先輩方や先生方と相談して新しいことを取り入れて、来てくださった人達が「また行きたい」と思ってくれたり、生徒達も「次にまたやりたい」と思ったりするような行事にしていきます。そして、皆が中等部生活の中で、たくさんの良い思い出を作っていけるようにしていきたいと思ひます。そのためにも、生徒会役員全員が団結して、頑張っていくので、みなさんのご協力をお願いします。

高校生徒会新役員

会 長 2年 4組 大沼 雄貴

副会長 2年 9組 滝沢 晴名

副会長 1年 5組 吉田 清仁

会 計 2年 9組 古屋 佑磨

会 計 1年 9組 剣持 瑛行

書 記 2年 5組 大貫 絵理

書 記 1年 9組 岩男 拓実



後列左から、古屋君、剣持君、大貫さん、岩男君
前列左から、吉田君、大沼君、滝沢さん

中等部生徒会新役員

会 長 2年 A組 長瀬慶太郎

副会長 2年 A組 川口万寿実

副会長 2年 B組 村上 来地

会 計 1年 B組 徳下 善大

書 記 2年 B組 青木 昂



後列左から、青木君、徳下君
前列左から、村上君、長瀬君、川口さん

生徒会旧役員のひとつこと

会 長 3年6組 松原 桃子

私は今まで人前に出ることなど全くなく、立候補する直前まで実際生徒会長になることなど考えてもみませんでした。しかし、学級担任の石井みなみ先生が「桃、やってみたら?」と推薦くださって、立候補することに決めました。選挙が終わり、生徒会会長として最初の朝礼で話をした時、壇上に立っていることが不思議で仕方ありませんでした。それから1年、私は特別なことはできませんでした。すみません。しかし、今まで何事も中途半端だった私が、最後まで生徒会会長としてやりきることができました。それは、みんなが会長と呼んでくれたり、朝礼のコメントについて話しかけてくれたり、ほかの生徒会役員が私以上に積極的に動き、協力してくれたりしたからです。本当に感謝しています。ありがとうございました。

会 計 3年11組 鈴木 晴久

私は非常に幸運な事に2年間も連続で、希望する会計として生徒会役員を務めさせて頂く事ができました。何も知らずに入った一昨年とは異なって、今年度の生徒会役員は私以外の全ての役員が新任だったため、当初、仕事に苦勞する場面が多々ありましたが、皆さんの協力を頂いて何とか乗り越え充実した1年間を生徒会役員として務めることができました。最後になりましたが、募金活動やエコキャップ活動を始めとする生徒会活動にご協力をいただいた、先生方、生徒の皆さんにこの場を借りて感謝申し上げます。どうもありがとうございました。

副会長 3年11組 佐藤 良介

生徒会活動を始めてから、本当にあっという間の1年間でした。役員になって初めて知ったことも多く、やはり、私の行いたかった“生徒主体の学校づくり”のためには、1人ひとりがかもって“知る”ことが大切だと痛感しました。これからは、より開かれた生徒会を通して、活発な学校にしてくれることを期待しています。

会 計 3年10組 大島 奈緒美

この1年間は、生徒会活動を通して多くのことを学ぶことができ、充実した日々でした。正直なところ、始めは務まるのか不安でいっぱいでしたが、仲間と協力し合い様々なことに取り組むことができました。大変なこともありましたが、今では良い思い出です。新役員の皆さんには後悔しないように何でもチャレンジして欲しいです。1年間ありがとうございました。



高校生徒会旧役員のみなさん

2008年度学校運営方針

アクティブボードを用いた授業改革の推進

環境改善とスキルの向上で 新時代の教育システムを実現します。

よりよい教育環境の創造をめざす本校は、世界の教育現場の最先端で活躍しているアクティブボードを、昨年度、全国に先駆けて中等部HR教室に設置。さらに、本年度は高校HR教室および各実験教室等計38教室に導入しました。各教員がスキルを磨き工夫をこらした教材による視覚・聴覚両面に訴えかける授業で、生徒の集中力をぐんぐん高めていきます。

教員が意欲的に取り組むことで 授業や学校全体が進化します。

教員1人ひとりが最新情報の収集に意欲的に取り組み、自由な発想で教材データを作成・活用することは、授業に新たなエネルギーと可能性を生み出します。そのような日々の積み重ねが生徒達の意欲をかきたて、学校全体もより高い水準へ向かって、自然に進化していきます。

自主的な学習活動を推進し、 発想力や想像力を育みます。

本校は、「なぜ?」から始まる自発的な学習意欲を大切に、生徒主体の参加型授業を実践しています。その効果をさらに高める設備が、アクティブボード。画像やパソコン上のデータ、インターネットなどを駆使した奥行きのある授業展開で、生徒の発想力や想像力を育みます。

本校がめざす「全人教育」の、 さらなる広がり可能性を追求します。

知育のみに偏らず、豊かな人間性と創造性を育む「全人教育」をめざして。教員と生徒、学校が一体となった教育改革サイクルをさらに推進し、新時代の学舎としての可能性を追求。期待や好奇心で瞳を輝かせる生徒達に、最新の教育ビジョンとスキルをもって応えていきます。

女子中高生のための体験授業と理系大学生との交流会

11月15日に「女子中高生のための体験授業と理系大学生との交流会」が東海大学湘南校舎で行われました。本校から高校1年生15名の女子生徒が参加し、他の付属校と合わせると69名の女子中高生が参加しました。

午前は全員で「AIBO(アイボ)を通して理解する理工系の領域」というテーマで、実際にAIBOを動かして、その動きが理工系の分野とどのように関連しているかを考えました。午後は5つのテーマに分かれて実験を行いました。みんな積極的に実験に取り組んでいました。他の付属校の生徒や学生、大学の先生方とも交流ができ、充実した1日となりました。

AIBO(アイボ)：全長30cmの動物型ロボット

東海大学女子理工系に関する実験に参加して



丸山 麻衣

1年1組 目黒区立第七中学校出身

今回私は、「みかんの皮からのリサイクル」の体験授業に参加しました。普段捨ててしまっているみかんの皮を使って、リモンという成分を抽出し、発泡スチロールを溶かしたり、アロマセラピーや化粧水として利用したりなど、様々なリサイクル方法があることを確かめる実験を行いました。私がこの実験に参加しようと思ったきっかけは、担任の先生に誘われ面白そうだなと興味を持ったからです。実

験はとても楽しく、実験の担当を下さった毛塚先生はとても気さくで親しみやすい先生で、実験中に何度も助けていただきました。また、先輩方や先生と大学についての話をしたりなど、楽しみながら実験を進めることができました。

そして、付属生との交流会では、同じ東海大付属であっても今回のような機会がないと会うことのできない人たちとも意見交換ができて、参加して良かったと思いました。

私は、この実験を通して理系の面白さや楽しさも感じることができました。さらに、東海大学を身近に感じることもできました。このような機会がもっと多くあればいいと思いました。今回とても良い経験ができたので、今後の進路選択に生かせると思いました。



他の付属校の生徒と意見交換



みかんの香りが実験室中に...



ぶんぶんごまでLEDを光らせよう!!



大学生のTA、高輪台出身です

参加者

組	氏名	出身中学校
1	近藤 優香	東海大学付属浦安中学校
1	丸山 麻衣	目黒区立第七中学校
2	土田 悠果	港区立高松中学校
2	武舎 和奈	川崎市立西中原中学校
4	関口 友美	横浜市立樽町中学校
4	鈴木 詩織	蓮田市立蓮田中学校
5	宮崎 紅	横浜市立日吉西中学校
5	蛭田麻里沙	江東区立東陽中学校
6	小野澤真弓	お茶の水女子大学附属中学校
6	高田 彩夏	江東区立深川第二中学校
6	木庭 聡美	川崎市立日吉中学校
7	坂本 彩乃	大田区立大森第三中学校
7	徳永 晴香	横浜市立日吉西中学校
8	長谷川彩乃	世田谷区立船橋中学校
9	安部百合恵	江戸川区立鹿本中学校

実験

- ① まわして光る～不思議なライトの原理～
- ② 光で話そう～光ファイバー電話～
- ③ 温めると2層に分かれる水溶液の不思議
- ④ みかんの皮からのリサイクル
- ⑤ 数学を使って、AIBOを上手く歩かせよう!

中等部1学年だより

スポーツ大会・校外行事

後期中間試験終了後の2日間、12月4日に本校アリーナでのスポーツ大会、5日にお江戸日本橋亭で落語を鑑賞する校外行事を行いました。スポーツ大会では大いに汗を流し、校外行事では日本の伝統芸能に触れるとともに大いに笑いました。試験勉強で疲れた生徒たちも心身共にリフレッシュできたようです。

スポーツ大会



頑張るぞ～!!



ドッジボール・狙いを定めて



綱引き・引っ張られる～



シュート合戦・それ～!!

校外行事

初めての落語

井上 穂乃佳 1年A組 板橋区立蓮根小学校出身

今回の校外授業は、「お江戸日本橋亭」で落語を聴きました。私は落語を初めて聴きます。寄席は、落語→講談→コント→落語の順で行われました。

太鼓の音とともに幕が開き、少しワクワクしてきました。落語は、ひとりでひたすら話をするだけだと思っていましたが、思っていたものとは“全く”違い、1人芝居のようにたくさんの人物になって、テンポよく話を進めます。しかも、小道具は扇子だけです。その扇子が筆や箸になるだけでなく、そこに紙や食べ物があるように見え、すごいと思いました。

特におもしろいと思ったコントは、今の流行の話題やネタを取り入れ、ふたりのかけ合いと、時には客席を巻き込んだ話でとても楽しかったです。

私にとって、今回の授業で「落語」が身近になりました。

初めての聴く落語

細川 海斗 1年B組 私立目黒星美学園小学校出身

僕は、今回の校外行事で初めて落語を聴くことになりました。最初は全然おもしろくないのだろうなあ、と全く期待していませんでした。

しかし、予想に反して落語はとてもおもしろいものでした。特におもしろかったのは最後の三遊亭鳳楽さんのお話でした。

ある宿場町の宿屋に一文無しの男が泊まり、宿代が払えないため墨で雀の絵を描いた。その絵は朝日を浴びると本物の雀となって出てくる。その絵が噂となり、宿屋は繁盛して…というお話でしたが、展開が早く、次はどうなるのだろう、とワクワクしながら最後まで集中して聞くことができました。

日本の伝統芸に触れ、貴重な体験になりました。日本人としていろいろな日本の伝統芸を知ることができれば、と思いました。



日本橋亭の前にぞくぞく集合!



楽しみなな～



高座が近くていい感じ!!



さあ、いよいよ始めるぞ!!

中等部2学年だより

スポーツ大会・校外行事

中等部2学年は「科学」をテーマに校外行事を行っています。中間試験の終了した2日後、12月5日(金)川崎市にある東芝科学館とテルム(リサイクルセンター)を訪れました。東芝科学館ではゲーム感覚でさまざまな科学の進歩を体験し、リサイクルセンターでは普段見られない家電製品などを解体する現場を見学することができました。建学祭で環境について学習していたのでより興味を持って見学することができたようです。これを機に1人ひとりが更に環境について考え、行動に移してくれると期待しています。

スポーツ大会



とめてやる!



リバウンド成功だ



シュ〜〜!



おもしろい展開になってきたぞ

校外行事

リサイクルしよう

江崎友也

2年A組 横浜市立永田小学校出身

今回東芝科学館とテルムに行って、リサイクルすることは大切だと改めて思いました。

東芝科学館の環境コーナーにあった消せるインクトナーは紙に書いたものをアイロンで消すことができ、驚きました。1度使った紙を何回も使えるからゴミを減らすことができるそうです。

テルムでは、使い終わったテレビやエアコンなどを解体してリサイクルしていました。特に印象に残っているのは、エアコン1台から回収してできるアルミニウムで、缶を250本も作れるということです。たくさんの缶の材料はどうしているんだろうと思っていましたが、これで納得しました。

2つの施設を見学して、自分にもできることはたくさんあると思いました。今回学習したことを活かして、自分にできることをやっていきたいと思います。

初めて行った解体工場

田副幹太

2年B組 横浜市立高田小学校出身

僕は初めてパソコンやテレビなどを解体しているところを見ました。僕は今までパソコンやテレビなどは解体した後すぐに埋められると思っていました。しかし説明を聞いていてリサイクルされるものが多いことを知りました。そして実際に解体しているところを見ました。どの作業員の人も、ものすごく真剣に作業をしていてとても大変そうでした。説明の中で工場の方がおっしゃっていたことは、年々リサイクルしなければならない家電が増えているということでした。それだけ今は埋める場所がなくなっているのだと思います。僕たちは解体作業などには直接貢献することはできないけれど、ゴミを分別したり無駄な電力を使わないなどして、少しでもゴミを減らす工夫をしなければいけないと思いました。



超伝導って凄いな



昔のラジオだけど今も聞けるんだ



人の動きに合わせてゲームが動く! テルムも見学



高校1学年だより

1年間

高校第1学年主任 米谷 昭人

皆さんは去年の今頃、何をしていましたか？ たぶん受験勉強に勤しんでいたのだと思います。そのときからもう1年間が過ぎてしまいました。皆さんにとってどのような1年間だったでしょう。充実した1年間を過ごした人、願いを叶えられた人、人それぞれ色々な思いや経験

をした1年間だったと思います。昨年は中学卒業、高校入学という大きな変化の年でした。今年の1年間はどのような1年間にしたいですか？ どのような1年間にしようと思っていますか？ 今年は、クラス替えが大きな変化です。どんなメンバーになるのか、どんなクラスになるのか、学級担任は誰か、ワクワクしますね。ワクワクするような目標や願い、思いを持って充実した1年間にしてほしいと思います。今年もよろしくお願いします。

2009年の抱負

明けましておめでとうございます。みなさんが本校に入学し、あっという間に2008年が過ぎていきました。あと3か月後には2年生になります。2年生になると、クラス替えをして、学習面では新しいことを学び、部活動では中心的存在になり、後輩の指導も任されることでしょう。みなさんは、この2009年をどのような年にしたいですか？ 今回は1学年の先生方に今年の抱負を聞きました。さて、あなたの今年の抱負は何ですか？

米谷 晩酌の量を減らし、本をたくさん読む。

鈴木 時間を大切に使う！

高橋 目標を見据えて行動する。
自分の行動に責任を持つ。

大畑 欲張りすぎずに前進

彦坂 鉄分とビタミンCと一緒に摂る。
もっと本を読む！ 勉強する。

田中 フルマラソンを走る！

工藤 放送部部員100人!!

島田 新しくこの世に生を受けた息子、年老いた両親、
そして妻とできるだけ多くの時を共に過ごしたい。

吉田 今年よりも自分を高める。
「継続」と「新規開拓」を大切にする。

野崎 卓球部・東京都団体戦ベスト4

川島 健康を維持するために走ります。
サッカー一部も…

金子 健康で1年間過ごしたい。

田村 あと3kg減量目指して頑張ります。

青木 去年は様々な事について時間に追われた1年
だったので今年は時間に追いつき、追い越す。



一生懸命走った体育祭



初めての東海大学! 湘南校舎見学会



目指せ優勝! スポーツ大会

高校2学年だよ

みなさん、「もしも、こうしていたら…」と考える時はありませんか？

最近読んだ「明日もまた 生きていこう」という、18歳でガンを宣告された横山友美佳さんが書いた本の中に、次のような文がありました。

『もしももう少し自分の体を大事にしていたら、もしも成徳に入学していなかったら、もしもはじめからバレーボールをしていなかったら、もしも……もしも……こんなこともあんなこともなかったら、病気にならなかったかもしれない。今となって、そう思ったりする。しかし、誰だって未来を知ることにはできない。最初からあれこれに怯えて、何にも挑戦せず、平凡な人生を送る。それはそれで安全かもしれないが、私はそんなつまらない人生のために生まれてきたわけではない。たとえ短くても一度きりの人生には花を咲かせたい。』

私も、毎日過ごしていると「もしも、こうしていたら…」と考えることがあります。しかし、いろんなことを選択する時に、その時一番やりたいことを選んでいるはず。「もしも…」と考える前に、選んだ道でどれだけ頑張れるかが必要なことだと思います。そして、1人ひとりいろんな人生の花を咲かせることが大切なのだと、この本を読んで感じました。

みなさんは、どんな人生の花を咲かせるのでしょうか…。(4組学級担任 山本 祐美)

クラスの2009年の抱負

1組 自他共栄を目指し、心身ともに成長する。

2組 自分の言ったこと、したことが周囲にどのような影響を与えるかについて今以上に思いをめぐらせるようにする。綸言(りんげん)汗のごとし。自由闊達な雰囲気の中にも、慎重に言葉を選び、そして行動する。今度こそスポーツ大会で優勝する。

3組 2009年は、生徒に「将来のために本気になる」と覚悟を決めさせたいと思っています。志望学科に行くために学力をつけ、「学ぶために進学する」という心構えと準備をさせたい。また、1人で生きていける人間になるよう欠席・遅刻はもちろん、何事に対しても前向きな取り組み方をしよう口うるさく言っていきたいと思います。生徒と関われるのも残りわずか。彼らが人として立派になれるようにと、今年も厳しく、嫌われる1年にしたいと思っています。

4組 「全力」
勉強・部活動も私生活も全力で取り組み、高校生活を思い出深いものにする。

5組 「一日一日を大切に過ごそう!」

2009年は3年生になり、高校生活も残り少なくなってきました。限られた時間の中で充実した毎日を送れるように一日一日を大切にしましょう。

6組 「有言実行」

学業も部活動も日常生活も、全てにおいて有言実行。1人ひとりの有言実行で6組全体の有言実行を作り出します。

7組 やるべきことを普通にやる!

8組 中だるみは卒業!

やるべきことは本気でやって、最高の高校生活に!!

9組 ・進路に向けて後悔しないように努力する

・思いやりをもつ

・クラスみんなが、笑顔で過ごせますように…

高校3学年だより

スポーツ大会(校内)7組に栄冠

学年所属 松橋 敬一 (スポーツ大会担当)

11月22日(土)、高校生活最後のスポーツ大会が開催されました。学年主任、高橋昇先生の「勝つことも大切だけれども、学年の仲間との絆を育てほしい」とのお話があり、2組の山本 瑛君の素晴らしい選手宣誓で、競技が開始されました。

種目別成績とクラス対抗総合成績は、以下の通りです。

		男子		女子			
バレーボール	優勝	7組	優勝	7組	卓球	優勝	8組
	第2位	5組	第2位	6組		第2位	3組
	第3位	3組・6組	第3位	2組・8組		第3位	2組・7組
バスケットボール	優勝	10組 A	優勝	7組	綱引き	優勝	3組
	第2位	8組 B	第2位	8組		第2位	5組
	第3位	3組・9組 B	第3位	5組・6組		第3位	4組・7組
						クラス対抗総合得点	
						優勝	7組 150点
						第2位	3組 90点
						第3位	8組 80点

建学の歌、校歌斉唱、2組吾妻壮志君の歌いだし、準備体操・審判員等、ラグビー部員、男女バレーボール部員、男女バスケットボール部員、卓球部員、サッカー部員協力の下、各クラスが団結しての応援も盛り上がり、高校生活最後のスポーツ大会が無事終わられた喜びを3学年団全員で分かち合いたいと思います。



コミュニケーション力と語学力

11組学級担任 田村 英典

少し前になりますが、立命館高校にSSHの発表会に生徒と一緒に参加してきました。なんと参加40校中32校が外国から参加の高校です。当然、期間中に話されるのは英語。語学力とコミュニケーション力の必要性を痛感しました。

高校卒業後、みなさんの多くは大学・専門学校等への進学を予定していると思います。英語が好きな人、嫌いな人がいます。私も決して好きとは言えません。しかし、外国では好きとか嫌いとか言っていられないのです。英語圏でなくても、公用語が英語という国がたくさんあります。「文系でも理系でも英語は必要だ」などと言いますが、これからは社会で働くために必要となってくることは間違いありません。また、言葉が通じたとしても相手に言いたいことが伝わらなければ意味がありません。各国の言葉が話せるに越したことはありませんが、たとえペラペラ話せなくても、身振り手振りで伝えようとするのも大切なのです。気持ちが伝われば、相手から助け船をだしてくれます。

国際化社会が進み、ますます世界を相手にすることが多くなるでしょう。その中で、堂々と自分の意見を伝えられるコミュニケーション力や語学力を身につけてもらいたいと思います。



SSH活動報告 ~ISSF~

10月27日(月)~31日(金)の期間で、立命館高校のISSF(International Students Science Fair)2008に3年SSHクラスの生徒3名、教員2名で参加してきました。発表や、講義、グループワークなどを全て英語で行いました。生徒達は研究内容を臆することなく堂々と参加生徒の前、参加教員の前で発表できていました。また、今年度は、例年以上に海外からの参加高校が多く(参加40校中32校が海外からの参加)、英語だけでなく世界各国の文化などにも触れることができましたようです。

みんなの協力に感謝

直井 雄介

3年11組 宇治市立東宇治中学校出身

1年間かけて取り組んできた“液化化現象”についての研究成果を、立命館大学草津キャンパスで開催されたISSFにて発表しました。

日本を含め17か国から、多くの高校生が参加し、取り組んできた研究の成果を真剣に発表していました。普段話す機会の少ない外国の人達と直接交流できたことは、とても貴重な体験でした。

発表形式が「日本語を一切使わず、英語でのプレゼンテーションおよび質疑応答」である事を聞いた当初は、うまくできるだろうかと不安でした。

また、非常にタイトなスケジュールの中、毎日夜遅くまで資料作成や発表準備に追われ、怒涛の2週間を過ごし、緊張の連続でもありました。

そんな状況の中で最後までやり遂げることができたのは、諸先生方のご指導や、共に頑張っている仲間の協力、そして家族の励ましが大きな支えとなったからだ、感謝の気持ちでいっぱいです。今回の経験を、自分自身を成長させる良い糧とした上で、今後様々な物事に取り組んでいきたいと思えます。



英語で作ったパワーポイントを見ながら英語で発表

自分の財産

渡邊 駿

3年11組 川崎市立今井中学校出身

まず、この企画の魅力はほとんどが英語という点です。企画に参加する他国の生徒との会話はもちろん英語、研究発表も英語、グループワークも英語といった英語漬けの1週間でした。この企画中にアメリカ、イギリス、中国、韓国、シンガポールなどから来た生徒と友達になりましたが、他国の生徒の英語力の高さを痛感しました。アメリカ、イギリスはもちろんのこと、その他の国の生徒の英語の発音がきれいであったり、聞いたこともないような単語を使っていたりと、自分の英語力の低さを感じました。しかし、そんな私にも彼らは積極的に話しかけてきてくれて、英語で話すことの楽しさを改めて感じることもできました。また日が経つにつれ、自然な感じで彼らと会話ができるようになったという点において、自分の英語が通じるという自信も持つことができました。この1週間内容の濃い、滅多に体験することのできない素晴らしい経験をすることができました。

今までずっと参加したいと思っていたこの企画に、高校最後の今年に参加できたこと、他国の友達と出会えたこと、とても貴重な体験ができたことを本当に嬉しく思うと同時に、誇りに思います。



体育館に貼り出された200枚近いポスターの中で発表

充実した5日間

梶田 聡史

3年11組 渋谷区立代々木中学校出身

ISSFに参加した5日間は私にとって驚きの連続でした。まず驚いたのがその参加国の多さで、実に17か国もの国の理系の高校生達が一堂に会していました。そして、会話は当然のことながら英語で話さなければなりません。活動の中には7人1組でのグループワークもあり、英語の苦手な私は、言いたいことがあるのに単語がわからないことに焦りながらも身振り手振りでどうにかコミュニケーションをとることができました。

研究発表では私が2年の時から続けて調べてきた「アンモナイトの螺旋構造」についての研究をポスターで発表しました。発表は何人もの人に聞いてもらい、質問にも用意していた英語でどうにか答えることができました。他の生徒の発表も興味深いものばかりで、普段からもっと英語の勉強をしっかりとやっておくべきだったと後悔しました。

このISSFでの5日間は自分にとって、とても貴重な5日間でした。今回の体験をこれからの進路にも役立てていきたいと思えます。



ダンボールで避難所用の家を作り、強度を競う

お知らせ

東海大学進学相談会 1月10日(土)

進路について考えよう

対象: 高校2年生 生徒・保護者

東海大学の教職員を本校に迎え、
各学部・学科の特色を説明していただきます。
学部・学科ごとの説明会です。



英検 1月24日(土) 高2・中等部 全員受験、高1・高3 希望者受験

今年度最後の英検です。ベストを尽くしましょう。

行事予定

January | 月

February 2月

- 1日(木) 元旦
- 2日(金) カナダ中期留学(～3月3日まで)
- 6日(火) SHIP(～2月24日まで)、新春懇親会
- 7日(水) 朝礼、授業開始
- 8日(木) 保護者面談(中2～17日)
- 10日(土) 東海大学進学相談会(高2)
- 11日(日) 受験生・保護者学校説明見学会(中等部、10:00)
- 12日(月) 成人の日
- 13日(火) マナー講習会(高3)
- 14日(水) 月曜日の授業
- 15日(木) 学年集会(高2・中2)
- 17日(土) スポーツ大会(高1、アリーナ)
- 19日(月) 高校推薦願書受付(高校)
- 20日(火) 中等部願書受付(第1回 31日まで、第2回 2月2日まで)
- 21日(水) 専門医によるカウンセリング
- 22日(木) 高校推薦入試(高校・中2 自宅学習日、中1 都内英語バスツアー)
- 23日(金) 高校推薦入試合否発表、月曜日の授業
- 24日(土) 英検(高2・中1・中2は全員、高1・高3は希望者)
停電のため入構禁止(18:00～)
- 25日(日) 停電のため入構禁止(～17:00)
- 26日(月) 高校推薦入学手続、高校一般入試願書受付(31日まで)
- 29日(木) 学年集会(高3)、校医相談日
- 30日(金) 特別講座終了(高3)

- 1日(日) 中等部第1回入試(中高 自宅学習日)
- 2日(月) 中等部第1回入試合否発表
振替休日(中高 自宅学習日)
- 3日(火) 中等部第2回入試(中高 自宅学習日)
- 4日(水) 中等部第2回入試合否発表
- 5日(木) 朝礼
- 6日(金) 基礎力判定テスト(5教科)(高1、2)
- 7日(土) 漢検(希望者)
- 9日(月) 水曜日の授業
- 10日(火) 高校一般入試(中高 自宅学習日)
- 11日(水) 建国記念の日
高校一般入試合否発表
- 12日(木) 高校一般入学手続(平常授業)
生徒による授業評価アンケート(高1、2、中等部)
- 18日(水) 専門医によるカウンセリング
- 19日(木) 校医相談日
- 22日(日) 英検二次
- 26日(木) 登校日(高3)

中等部学校説明会



編集後記

戦・帰・虎・災・愛・命・偽、21世紀に入ってから選ばれた「今年の漢字」である。この『飛躍』が発行される頃には2008年の漢字が発表されているはずだ。それに先立ち昨年12月、教室で高校1年生にたずねてみた。第1位になった漢字は「変」。政治・経済・社会のさまざまな分野で、大きな変化・変動や変な事件が目立ったのがその理由だそう。さて、今年は何んな漢字が選ばれる年になるだろうか。生徒に2009年に望む漢字を聞いたところ、多かったのは「安」。安心・安全・安定を願うのは高校生とて同じこと。安らかな年になることを祈りたい。(か)

東海大学付属高輪台高等学校・中等部

TEL.03(3448)4011 FAX.03(3448)4020 ホームページ: <http://www.takanawadai.tokai.ed.jp/>